

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	バウ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：バウ**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

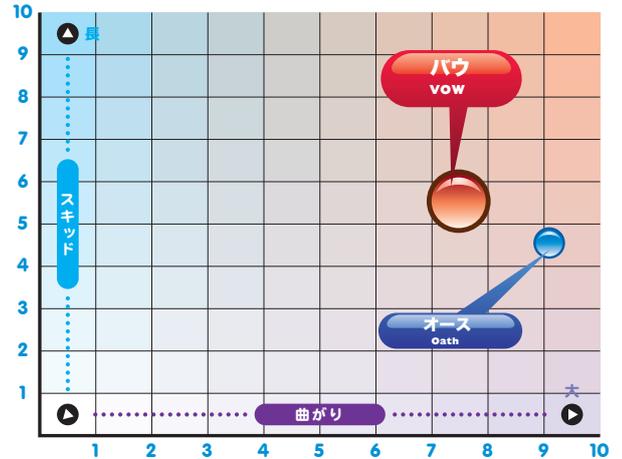
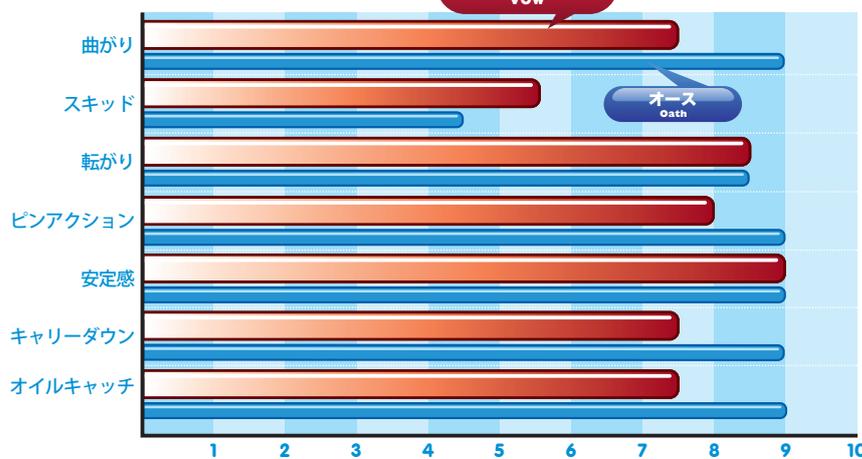
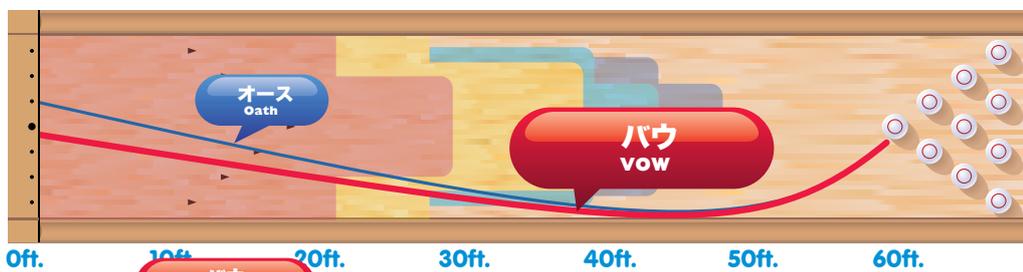
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：オース**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



### ボールの評価

今回ご紹介するこの"VOW"は、Bend-It PearlカバーストックとCapsuleコアの組み合わせで、昨年のジャパンカップで優勝を成し遂げたPBAミカ・コイブニエミプロの使用ボール、Oathの後継モデルとして発売されます。

VOWのBend-It PearlカバーはOathのBend-It Solidカバーと比べ、ミディアムコンディションにおける融通さに長け、光沢のある表面はスキッドと言われる直進力とドライゾーンでのグリップ感を双方をバランスよく感じることができます。

そのカバーストックの動力となるCapsuleコアの低いRGは早く回転速度を上げ、高いDifferentialはバックエンドで大きな弧を描きます。VOWとOathを投げ比べると、双方でかなり曲り始めのイメージが異なります。カバーストックのSolidとPearlの違いは、ミッドエリアで圧倒的な安定感を出して曲がるOathとバックエンドでややフリップを感じるVOWと表現できるほど性能の違いを感じます。明らかに2つのボールの対応させやすいコンディションが分かれていて、コンディションとボールを合わせようとしたときにチョイスしやすいと思いました。またOathにも感じたことですが、Symmetric(対称)コアでもダイナミックにコアが捻じれ難いレイアウトでなくてもしっかりとパフォーマンスを得ることができますので、シンプルにレイアウトできるのが嬉しいですね。

VOWはOathでやや曲がり大き過ぎるコンディションでの運動性は抜群で、ポケットヒット率、ストライク率はライバルを寄せ付けない性能を感じました。日本で発売するVOWはJAPANオリジナルのUSモデルよりもやや粗めのポリッシュ加工を選択しています。スキッドし過ぎず、絶妙なキャッチ感を得ることができるでしょう。

### 特記事項

**昨年のジャパンカップで優勝でさらにニーズを高めたOathの後継モデルのVOW。ミディアムコンディションから遅くなりつつある場面で、圧倒的な性能の差を感じることができるでしょう。**